

ヒノキ(自生種)

Chamaecyparis obtusa
(Sieb. et Zucc.) Endl.ヒノキ科
Cupressaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 各地に植栽されているが、本県の自生地は極めて限られている。山頂尾根部の岩角地に生育しているため、伐採は免れるものの、風衝など自然災害による倒木や崩壊による損傷で、個体数の減少が懸念される。

県内分布 (耶馬溪地区), 英彦山・犬ヶ岳山地, 北川上流域(いずれも自生地)

分布域 本州(福島以西) 四国 九州(福岡・熊本・大分・鹿児島)

生育環境 山地の山頂尾根部の岩角地林内。

現 状 「耶馬溪地区」の文献記録はあるが、その生育地は把握できていない。しばしば群生することがあるが、その生育範囲は極めて狭い。

備 考 文献 [林弥栄：日本産重要樹種の天然分布 林業試験場研究報告 55 (1951)]

ビャクシン

Juniperus chinensis L.ヒノキ科
Cupressaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 本県の生育地は「豊後水道域」の島に点在するが、厳しい生育環境にあって個体数は少ない。自然増殖はほとんどなく、自然災害による倒壊や損傷、人による採取もあって、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 豊後水道域

分布域 本州 四国 九州(福岡・佐賀・長崎・大分)
中国 蒙古

生育環境 海岸の崖地や岩上。

現 状 いずれの生育地も厳しい自然環境に耐えて生育している。自生地から移植したとされるものが半島の地に生育している。

備 考 県指定天然記念物「横島のビャクシン」(米水津村)

ツクシビャクシン

Juniperus chinensis L.
var. *tsukusiensis* Masamuneヒノキ科
Cupressaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 分布域が限られており、個体数も少ない。本県では、現在生育が確認できる所は極めて希で、北限域となっている。採取されるおそれがあり、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 九重火山群

分布域 九州(佐賀・長崎・大分・宮崎)

生育環境 火山山頂帯の草原や林縁。

現 状 「九重火山群」の標高1,300m以上の尾根筋に、わずかに生育している。

備 考 大正末期のころ、当該地域から庭木や盆栽用として多量掘り取られた記録がある。